



大内基康コレクション寄贈記念展
書は人なり～書をあつめる楽しみ
時 3月6日(土)～4月18日(日)
(前期・3月6日(土)～28日(日))
(後期・3月30日(火)～4月18日(日))
※全作品入れかえ

呉市在住の蒐集家、大内基康氏が、熊野町へ寄贈された書のコレクション。本展では日本史上の人々の書に表れた、様々な「くせ」に注目し、書を見ること、あつめることの楽しみを紹介します。

令和3年度PAL会員新規入会キャンペーン
時 3月6日(土)～5月9日(日)

来年度の筆の里工房の賛助会員を募集しています。イベントの優先受付や割引、年間の筆の里工房入館料が無料になるほか、ショップ一部商品の割引、ひろしま美術館等の入館料割引などの特典があります。

キャンペーン期間中は筆の里工房の招待券2枚付きでさらにお得です。希望者には資料をお送りしますので、お気軽にお電話ください。



クロストーク
書をたのしむ

歴史上の人々の書を見るとき楽しみ方など、展示会をもっと楽しむためのヒントについて語ります。

時 3月20日(土祝) 14:00～

¥無料(要入館料)

講 大内基康(寄贈者、蒐集家)

名児耶明(前 五島美術館副館長、
筆の里工房学術顧問、書道史研究者)

定 50人(要申込)

学芸員ギャラリートーク

時 3月28日(日) 13:00～

¥無料(要入館料) 講 井田明宏(学芸員)

定 20人(申込不要)

入館料《特別料金》

大人・300(240)円

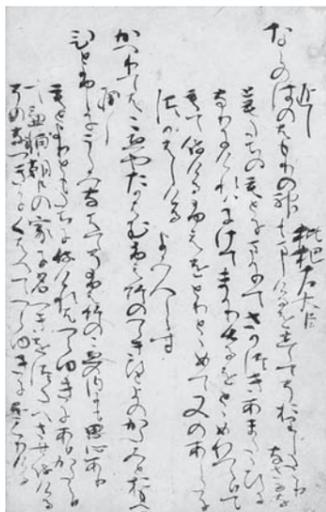
高校生以下、PAL会員・無料

※()は20人以上の団体料金

◆ご注意◆

入館時には検温、マスク着用をお願いしています。また、災害や新型コロナウイルス感染の状況により、内容や日程を予告なく変更することがあります。開催の有無は、来館前にホームページを確認、または電話で問い合わせください。

学芸員のおすすめ
大内基康コレクション紹介③



藤原定家筆 紹巴切後撰和歌集 鎌倉

藤原定家は平安～鎌倉時代の歌人で、小倉百人一首を選んだ人物として有名です。その書は、ちょっと変わっていて、今でいう「丸文字」のように、文字や線に丸みがあります。定家は自分の悪筆を自覚していたようですが、文字を間違えないことを誇りとしていました。

この書風は「定家様」として定家の子孫や公家たちによって和歌の清書用に用いられ、やがて大流行したのです。

(本作品は前期展で公開します)



館内にある熊野筆セレクトショップ本店では、約1,500種類の書筆、画筆、化粧筆から選んで購入ができます。化粧筆を手にとったり、水で試筆ができる筆もあり、アドバイザーがご案内します。プレゼントを贈るときなど、気軽にご相談ください。
(入館料不要)

今年は「街並みアートギャラリー」を開催します

令和3年の筆の日は、熊野高等学校、熊野中学校、熊野東中学校、筆の駅の協力により、書道の作品を平谷交差点から川角の火ノ原交差点の間に展示します。

「熊野」「筆」を大切に想う気持ちや、新型コロナウイルス感染症に負けない前向きな気持ちを力強く表現した作品をぜひご覧ください。

時 3月8日(月)～3月22日(月)

※天候などにより変更になる場合があります。



〈平成27年の街並み
ギャラリーの様子〉

～筆ならではの良さを見つめなおしてみませんか?～

筆の日週間「一日一筆」

3月14日(日)～3月26日(金)は、パソコンだけでなく、文房筆四宝(筆、墨、硯、紙)や絵筆、化粧筆を積極的に使う週間です。ぜひ皆さんもご家庭などで一日一筆にご参加ください。

熊野町公式YouTubeで
熊野筆動画を公開中

熊野町公式YouTubeでは、熊野筆ができるまでの様子を紹介しています。



春
分
の
日
は

筆の日

～筆の日とは～

平成20年9月に、町の条例で春分の日を「筆の日」とすることが定められました。

筆の日を定めた目的は以下の2つです。

①「筆の都 熊野町」として、筆産業の振興と筆づくり技術の継承・発展に尽力した先人に感謝する。

②筆の歴史と文化の価値を改めて見つめ直し、筆文化の振興と筆産業を発展させていくために、行政と事業者、そして町民のみなさんが連携して、熊野町と筆文化の魅力を全国に発信していく。

(産業観光課)